

特集「みんなの輪きょうわの和」 vol.28

「道道泊共和線国富大山トンネル」にスポット!

今回は、現在整備が進められている道道泊共和線の「国富大山トンネル」についてご紹介します。

【国富大山トンネル建設の経緯】

国富大山トンネルは、泊村茅沼を起点、本町の国富を終点として新設される「道道泊共和線」のトンネルで、事業計画では「(仮称)国富2号トンネル」と呼ばれていましたが、この度完成に向けて「国富大山トンネル」と正式に命名されました。

国富大山トンネルは、国道5号を稲穂峠に向かう途中、国富交差点から3キロメートルほど進んだ左手に位置しています。道路と山との高低差が約170メートルあることから、安全な通行を確保する目的で計画され、平成28年3月に掘削作業が開始されました。共和町にとってトンネルの建設は、昭和39年に完成した俱知安峠の「盤の沢トンネル」以来、約50年振りとなりました。

工事は、想定より地盤が固く、爆薬を使用する発破工法を取り入れるなど、様々な苦難を乗り越えて約1年5ヶ月に渡る掘削作業を終了し、今年8月に貫通式が開催されました。

式では、山本町長から「地域にとって重要な役割を果たすトンネルの貫通を大変喜ばしく思っています」と挨拶が述べられるなど、延長1,544メートルに及ぶトンネルの貫通を祝いました。



トンネルを掘削する様子



8月に行われた貫通式の様子

【小学生トンネル見学会の開催】

トンネルの建設を地域住民に理解してもらおうとともに、子どもたちにも建設業に対する興味をもってもらうことを狙いとして、6月12日に東陽小学校全学年の児童を対象としたトンネル見学会が行われました。見学会は工事請負業者が主催となつて開催され、トンネルの作り方について学んだ後、掘削機械の見学や工事中に発生する濁水の処理方法について学ぶ実験を行いました。児童たちは、なかなか見ることができない完成前のトンネルや機械に目を輝かせて学んでいました。



濁水をきれいにする実験の様子

「道道泊共和線の今後」

道道泊共和線は平成34年度の完成を目指し事業が進められており、平成29年度末の進捗状況は約35%となる予定です。今後は、道路の拡幅工事や(仮称)国富1号トンネルを含む3本のトンネルの建設と、(仮称)茅沼1号橋の建設などが進められる予定で、供用開始後は町の交通網がより充実することが期待されます。



国富大山トンネル(発足側出入口)



道道泊共和線の図面

(国富大山トンネル)